

高校生による IT/IoT 技術を活用したスポーツデータアナリスト体験授業 —スポーツデータを分析、授業に活用—

このたび、高校生のデータ活用力向上のための「スポーツデータアナリスト体験授業」を市立科学技術高等学校（以下、科技高）にて実施します。

高校生自身が、IoT 機器を使って収集したスポーツデータを基に、走行ペースの把握やトレーニング効果の確認、健康運動の管理など、スポーツを題材にデータ収集手法やデータ分析を授業の一環として学習します。

1. 背景

本市の「KOBE スマートランニングサービス実証事業」※1や、「Be Smart KOBE」採択事業※2である「IT/IoT 技術を活用した市民のスポーツ、運動実施環境実現の実証実験」の実証結果に基づいて、株式会社アシックス（以下、アシックス）、株式会社神戸デジタル・ラボ（以下、KDL）連携のもと、得られた知見を活かしてスポーツデータの利活用ができる人材の育成を目指します。

2. 実施概要

科技高の生徒が、BLE タグを用いた計測システムを活用したランニングデータの計測や GPS トラッカー、スマートウォッチなどを活用したスポーツ競技データの取得、得られたデータの分析、TUNEGRID※3を活用したデータ取得とオンライン環境下での遠隔コーチングの実施、データ分析アプリケーションの開発など、スポーツデータアナリストを体験します。

3. 実施期間

令和2年6月～令和3年1月の原則毎週木曜4～6限目（11：50～15：10）

4. 対象

市立科学技術高等学校（神戸市中央区脇浜町1丁目4番70号）

【データ分析】科学工学科3年生 4名

【トレーニング被験者】運動部員 数名

5. 授業内容

- ・アシックスやKDLによるスポーツデータ分析に関する授業を実施（主な授業形態はWeb授業）。
- ・BLE タグを用いた計測システムや GPS トラッカー、スマートウォッチを活用したデータ分析を体験。
- ・取得したデータから数値に基づくコーチングを実施し、競技力の向上を目指す。
- ・データ分析ツールとしてアプリケーションの開発を目指す。
- ・研究成果を校外及び校内発表会で発表。

6. 各者の役割

アシックス：スポーツデータ収集手法や分析手法を指導

K D L : BLE タグを用いた計測システムの提供・運用データ分析アプリケーション開発
サポート

神戸市 : 学校や関係機関との連絡調整

7. 今後のスケジュール

令和2年6月25日(木曜) 体験授業開始
令和3年1月 発表会(予定)

※1. KOBE スマートランニングサービス実証事業

平成27年に完成した「アシックス×神戸市 ランニングコース」(HAT神戸エリア内)上の6箇所に検知器を設置し、BLEタグを持ったランナーがコースを走ることで、自身の走行タイム等をスマートフォンのアプリで確認することを可能にします(令和元年11月末でサービス終了)。

※2. Be Smart KOBE 採択事業

本市が昨年度より進めている、先進的な技術を活用して社会課題を解決する実証事業。

事業名 : IT/IoT 技術を活用した市民のスポーツ、運動実施環境実現の実証実験

事業者 : 株式会社アシックス、神戸大学、株式会社神戸デジタル・ラボ

○詳細は下記 URL 参照

- 事業概要

<https://besmartkobe.com/case/sports/>

- 神戸デジタル・ラボ 事業紹介ホームページ

http://www.kdl.co.jp/news/2019/12/sckobe_m2019.html

※3. TUNEGRID

スポーツ競技や運動実施の記録を簡単に取得・分析できるシステム。

○詳細は下記 URL 参照

<http://asicstunegrid.net/>